



OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

W E E K L Y R E P O R T

設立 昭和63年(1988)5月23日
 事務所 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-7-3 大丸北炭屋町ビル6階
 TEL. (06) 6244-1008 FAX. (06) 6244-1010
 WEB. http://sembarotary.club E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp
 例会 毎週月曜日・12時30分・ホテル日航大阪 Tel. (06) 6244-1111

会長 宮原 彰 幹事 岩崎 寿英 会報広報委員長 中西 弘明

四つのテスト／言行はこれに照してから Ⅰ. 真実かどうか Ⅱ. みんなに公平か Ⅲ. 好意と友情を深めるか Ⅳ. みんなの為になるかどうか

第1430回 例会 2021年(令和3年)10月4日

(基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間)

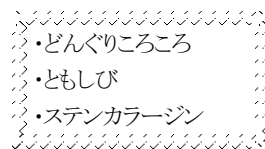
本日のプログラム

(本日のプログレス 清水 清一 副SAA)

- ロ-タリ-ソング 「君が代」「四つのテスト」
- 会長の時間 ○ 幹事報告 ○ 委員会報告 ○ ニコニコ箱報告 ○ 出席報告
- 10月お誕生月会員お祝い
- 卓 話 「留学生活で感じたこと」 米山奨学生 郭 鑫 様
- 理事会 31階「カトレア」 13:40~14:40

前回(9月27日)例会記録

◇プログレス 俣野 富美雄 副SAA



1. 来客紹介 天野 大樹 親睦委員

ゲスト:0名 地区外:0名 地区内:1名 合計:1名

2. 会長の時間 宮原 彰 会長



皆さんこんにちは、仕事上「日刊工業新聞」を講読しております。

先週、9月24日の記事に、企業の「人材育成に黄色信号」がとまっている。

「テレワークの影」と有り、会員の皆様にもお役に立てればと思います。

日本能率協会が企業を対象に実施したアンケートで、新型コロナウイルス感染拡大に伴い「人材育成がしにくくなった」と回答する企業が約5割にのぼった。その原因はテレワークでのコミュニケーションの難しさが背景にある。調査は7月20日→8月20日に同協会の法人会員など、5000社を対象に郵送で行った。

回答は517社、設問は「新型コロナ感染拡大による社員・職場への影響」「当てはまる ⇒ まったく当てはまらない」まで7段階で聞いた。「人材育成がしにくくなった」割合 48% 「業務上のミスが増えた」などは10%程度と低い、「社員が同士の意思疎通が難しくなった」「上司と部下の意思疎通が難しくなったが45%と高く、人材育成やコミュニケーションの課題が鮮明になった。

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

SERVE TO CHANGE LIVES

◎関西経済連合会が実施したテレワーク実施上の課題対応についての調査でも情報セキュリティーや労働時間の管理については対応が進んでいるが、オンザ・ジョブトレーニング(OJT)による人材育成やコミュニケーションについては比較的遅れている実態が浮き彫りになった、日本能率協会の KAIKA 研究所の近田高志所長は「コミュニケーション」や人材育成における問題が広がらないよう社員や管理職層に対するケアが一層重要になる」としている。

アンケート資料 当てはまる+どちらかと言えば当てはまる

① ストレスを抱える社員が増えた	55%
② 社員同士の意思疎通が難しくなった	50%
③ 人材育成がしにくくなった	48%
④ 上司と部下の意思疎通が難しくなった	45%
⑤ 社員がアイデアを出し合う機会が減った	35%
⑥ 社員が時間生産性を意識して、仕事をするようになった	12%
⑦ 業務上のミスやトラブルが増えた	10%

3. 幹事報告

- ①「2021年8月佐賀・長崎豪雨災害支援金」として、お一人あたり2,000円を個人預り金より地区に支払いしました。
- ②秋のRYLAセミナーについては完全オンライン開催に変更になっています。
- ③第50回ロータリー研究会記念講演会が12月8日(水)にオンライン(無料)にて開催されます。ご興味のある方はぜひご参加ください。
- ④来週10月4日の例会後に理事会が開催されます。関係各位の皆様はご参加ください。

4. 委員会報告

◎ 国際奉仕委員会 吉本 力 委員長

9月17日(金)の昼、澤田会員と一緒に八尾ロータリーの田中会長、児林(こばやし)副会長、藤田国際奉仕委員長にお会いしてきました。

八尾ロータリーは、バヌアツ・フィリピンにおける医療奉仕活動の支援に関し、過去に現地へ同行いただくなど深い関わりがあります。今回、八尾ロータリーの方から、国際奉仕に関し、グローバル資金を使って一緒に何かできないか(いわゆるコラボ)とのご提案が澤田会員にあつたため、7月30日に最初にお会いした後、今回は2回目の会合となりました。

グローバル資金を使う場合、現地へ赴いて調査を行ったり、継続性のある事業でなければならぬなどの制約が多いことから、コロナ禍の現時点において、グローバル資金の承認を得ることはできないだろうという結論になりました。

しかしながら、折角の機会ですので、各クラブの予算を使って、現地に必要な物資を送り出すコラボ企画を本年度中に実現したいという意見で一致しました。まずは、現地に必要な物資について、澤田会員から現地へ問い合わせさせていただくことになっています。今後、進捗を随時ご報告させていただきますが、皆様のご理解とご協力を賜りたく存じます。

◎ 会員増強委員会 岡野 秀章 委員

10月11日(月)に体験例会を予定通り開催いたします。

今のところ3名の方の出席が確定しております。コロナ対策に万全を期して開催しますので、安心して来ていただけたらと思います。どうか周りの方へのお声かけをお願いいたします。

5. ニコニコ報告 西村 文延 親睦委員

澤田 会員・・・本日の卓話宜しくお願ひ致します。

西村 会員・・・先々週に「つるやゴルフ門真巢本店」をオープンしました。大変な売上好調で、今迄の記録を更新致しました。感謝・喜びとしてニコニコ!

松谷 会員・・・先週22日3人目の孫が生まれました。元気な女の子だった様です。コロナで未だ会えていません。

伊藤 会員・・・昨晚2人目の孫が誕生しました。

山川 会員・・・皆さん、お久しぶりです!!

岡本(茂)、井澤、藤井、俣野、岡野、宮原、清水、小島、中井、新川、竹内、中嶋、小山、甚田、中西、大磯、洪、天野、
沖、林、岡本(真)、大嶋、吉本、坂本、原山、北野、

各会員・・・コロナ禍も減少傾向にあるけれど油断大敵!注意を怠らず、元の自由な暮らしの再現を楽しみにニコニコ!!

6. 出席報告 俣野 富美雄 副SAA

会員総数 38名 出席率計算会員数 38名 出席会員数 34名(内 ZOOM 参加1名) 出席率 89%

第1427回(7月12日) 修正出席率 97%

7. 卓話 「コロナ禍における奉仕活動」 澤田 宗久 会員



中国の武漢で発症したウィルスが全世界に拡散され早くも3年になります。

その事によって全ての経済・生活様式も様変わりしてしまいました。

バヌアツとフィリピンでの私達の活動もこの2年にわたり出来なくなりました。

いつになったらコロナ禍が終息に向かうのでしょうか?と思うばかりです。

しかしながらこのままじっとして居るのでは無くコロナ禍の中でも何か活動をしないとイケないと考えました。今回バヌアツは現在鎖国状態で活動が出来ないので、フィリピン・カオハガン島の活動を通じて知り合ったセブ島のNPO団体『GO SHARE』を通じて物資を寄付することにしました。内訳は、歯ブラシ、エンピツ、文房具、スポーツ用品、タオル等です。その時の動画と

感謝状が届きましたので皆様ご覧ください。

又、JDMの活動と致しましてフィリピン・カオハガン島の島民から依頼を受けて歯ブラシ2100本、エンピツ3000本、タオル5箱を先週パッキングして送りました。以前から我々の奉仕活動に何かとお世話になっている八尾RC田中会長から連絡があり大阪船場RCと一緒にフィリピンで国際奉仕活動をコラボで行いませんかとお話があり国際奉仕委員の吉本委員長と2回ほど会合を行いました。内容については、吉本委員長から説明して頂きますので検討のほど宜しくお願い致します。

「フィリピン・スラムにラーニングセンターを！」

子供たちへの教育支援国際協力プロジェクト

事業概要

コロナ禍でロックダウンにより教育機会を逸している子供達への教育支援を行うため、フィリピンのスラム(貧困層)コミュニティに地域住民、特に子供達の為の「ラーニングセンター」を建設する。

貧困層の子供たちは、①学ぶチャンスがない、②デジタルデバイス(インフラが整っていない)③ここでのロックダウンになっている。そのためにソーシャルディスタンスを保って安全に交流できるこのセンターがあればここを拠点にコミュニティの教育力を向上させていくための取り組みが可能となります。

フィリピンは国際的な学力テストでは残念なことに、非常に低い位置にあります。

特に理数系の科目はほとんど最下位。けれど決して怠け者だからとかやる気がないからではないのです。先生の数が足りない、学校自体がない、といった教育インフラの不足によることもとても大きいのです。実際に7000以上ある離島の中には小学校までしかない島も多く、施設や学用品の不足はそのまま子供たちの学力や学ぶ意欲の低下につながっています。でも、私達は経験として知っています。絵本を届けた時の子供達の嬉しそうな笑顔。読み聞かせた時の輝く瞳。学ぶ気持ちが無いのではないのです。ただただ、チャンスに恵まれていないだけなのです。背中を押してくれるだれかの存在があれば状況は必ず変わっていきます。その思いをもとに、子供たちとその成長を支えるべきコミュニティに、「学べる場」を作り出したいと思っております。大阪船場 RC の皆様のご協力、ご支援をどうぞ宜しくお願いいたします。

☆次回10月11日(月)例会予定

・卓話:小島会員

・体験例会